

---

『Thank you.』

槇野雅文

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

『Thank you.』

### 【Nコード】

N4447J

### 【作者名】

槇野雅文

### 【あらすじ】

彼と彼女の国境を越えた出会い。

英語嫌いだった彼は、彼女に心を動かされていくのだが、3日後に卒業式を控えている。\*\*\*\*\*あの作品が今、

ここに！！\*\*\*\*\*

M y n a m e i s A r i s S a r i .

P l e a s e c a l l m e A r i s .

N i c e t o m e e t y o u .

……それは、あまりにも突然のことだった。

まだ少し寒さの残るある2月のこと。

午前9時ごろ、窓際の席はほんのり心地よい。

高3の彼は卒業を3日後に控えていた。

その時突然、教室前方の扉が開いた。

それが彼の人生を変えた。

彼は、英語が嫌いだった。

ある日、英語の授業で彼は疑問を抱いた。

日本人なのに、どうして英語を勉強するのかと。

そして、彼は彼女に出会った。

それは2月27日のことだった。

自己紹介を終えた彼女は、ホッと息をついて彼の隣の席に座った。

彼はリンゴ色の頬の彼女に、心臓が高鳴った。

ゴクリと唾を飲み込むと、彼女に話しかけた。

彼女はそっと微笑んだ。

でも、返答はなかった……。

彼はうつむいていると、そつと小さな紙切れが机の上に置かれた。

『Thank you . please know your  
name .』と書かれていた。

彼は『Thank you .』という単語だけ分かった。

彼は彼女の書いた下に『Thank you .』と付け加えた。

彼女は再び微笑んだ。

彼は何か話したそうにして、そつと前に向き直った。

そしてあっという間に、卒業式の日がやってきた……。

彼は泣いた。

英語をろくに勉強しなかったことに。

彼女は笑顔だった。

彼に出会えたことに。

たった3日間だったが、それは輝きに満ちた3日間だった。

出会い、別れそれは切っても切り離せないものだ。



そして彼は別れの時を迎えていた。

彼女は『Thank you.』と言い残して歩き始めた。

広い青空に彼の声が響き渡った。

「  
M  
y  
n  
a  
m  
e  
i  
s  
.....  
俺はアリスさんが好きだ.....」

あれから、もう20年の月日が経つ。

彼女は日本語をすっかり話せるようになった。

でも彼は、やっぱり英語が嫌いなようだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4447j/>

---

『Thank you.』

2010年10月10日18時35分発行